

焼却施設の維持管理に関する記録

平成27年度

1 処分した廃棄物の各月毎の種類、数量

種類		家庭系一般廃棄物及び事業者一般廃棄物のうち可燃ごみ(破碎可燃残渣等を含む)													
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度計	
焼却量	1号炉	t	903.14	878.27	839.98	939.12	852.31	843.36	886.69	1,025.14	1,210.78	263.56	949.86	850.48	10,442.69
	2号炉	t	896.01	880.67	880.22	882.51	832.85	841.55	886.25	161.08	343.13	960.10	946.53	843.86	9,354.76
	3号炉	t	744.73	890.07	847.43	889.59	849.26	858.02	889.39	1,025.98	1,199.31	967.18	119.00	860.40	10,140.36
	合計	t	2,543.88	2,649.01	2,567.63	2,711.22	2,534.42	2,542.93	2,662.33	2,212.20	2,753.22	2,190.84	2,015.39	2,554.74	29,937.81

2 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度(すべての日平均の月平均値)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値	
燃焼室中の燃焼ガス温度	1号炉	℃	917	922	911	906	904	912	923	916	922	928	919	922	917
	2号炉	℃	930	932	926	918	917	916	928	920	933	930	930	934	926
	3号炉	℃	925	931	924	921	922	923	928	925	929	928	923	931	926
集じん器に流入する燃焼ガス温度	1号炉	℃	180	181	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
	2号炉	℃	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
	3号炉	℃	180	180	180	181	181	181	180	180	180	180	181	181	181
排ガス中の一酸化炭素濃度	1号炉	ppm	13	13	15	16	16	16	15	14	13	13	12	14	14
	2号炉	ppm	7	9	9	9	9	10	8	7	6	8	8	8	8
	3号炉	ppm	8	8	8	9	8	8	8	8	7	8	7	8	8
備考		連続測定													

※1 フロー図上の1にて測定

※2 フロー図上の2にて測定

※3 フロー図上の3にて測定

3 冷却設備、排ガス処理施設に堆積したばいじんの除去を行った日

冷却設備		年月日	年月日
減温塔	1号炉	H28年1月11・12日	
	2号炉	H27年11月13・14日	
	3号炉	H28年2月1・2日	
排ガス処理設備		年月日	年月日
ろ過集じん器	1号炉	H28年1月15日	
	2号炉	H27年11月18日	
	3号炉	H28年2月5日	

4 ばい煙又はばい煙濃度測定結果

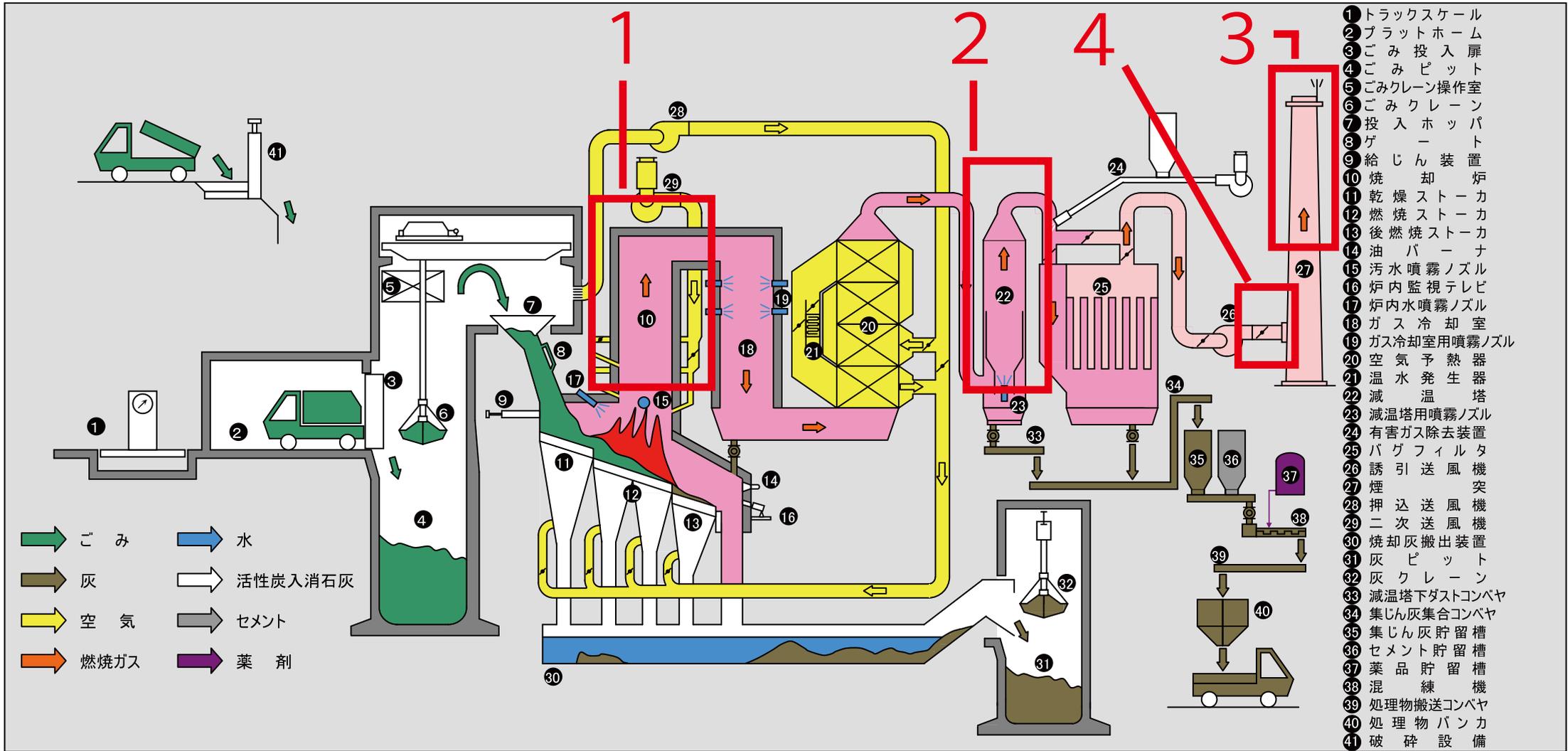
区分	規制値		単位	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉
	法規制値	自主管理値		1回目	1回目	1回目	2回目	2回目	2回目
排ガスを採取した年月日	-	-	-	H27.6.16	H27.6.16	H27.6.16	H28.3.2	H28.3.3	H28.3.4
結果の得られた年月日	-	-	-	H27.7.2	H27.7.2	H27.7.2	H28.3.25	H28.3.25	H28.3.25
硫酸化物濃度	K値=10		K値換算	19	14	20	11	27	15
ばいじん濃度	0.04		g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
塩化水素濃度	700mg/m ³ N		ppm	100	51	78	46	120	48
窒素酸化物濃度	250		ppm	110	95	66	76	65	66

※4 フロー図上の4にて測定

5 排出される排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

区分	規制値	単位	1号炉	2号炉	3号炉
			1回目	1回目	1回目
結果の得られた年月日			H28.3.25	H28.3.25	H28.3.25
排ガス中のダイオキシン類濃度	0.1	ng-TEQ/m ³ N	0.00013	0	0.00032

プラント系統図



- 1 トラックスケール
- 2 プラットホーム
- 3 ごみ投入扉
- 4 ごみピット
- 5 ごみクレーン操作室
- 6 ごみクレーン
- 7 投入ホッパー
- 8 ゲージ
- 9 給じん装置
- 10 焼却炉
- 11 乾燥ストーカ
- 12 燃焼ストーカ
- 13 後燃焼ストーカ
- 14 油バーナ
- 15 汚水噴霧ノズル
- 16 炉内監視テレビ
- 17 炉内水噴霧ノズル
- 18 ガス冷却室
- 19 ガス冷却室用噴霧ノズル
- 20 空気予熱器
- 21 温水発生器
- 22 減温塔
- 23 減温塔用噴霧ノズル
- 24 有害ガス除去装置
- 25 バグフィルタ
- 26 誘引送風機
- 27 煙突
- 28 押込送風機
- 29 二次送風機
- 30 焼却灰搬出装置
- 31 灰ピット
- 32 灰クレーン
- 33 減温塔下ダストコンベヤ
- 34 集じん灰集合コンベヤ
- 35 集じん灰貯留槽
- 36 セメント貯留槽
- 37 薬品貯留槽
- 38 混練機
- 39 処理物搬送コンベヤ
- 40 処理物バンカ
- 41 破砕設備

→ ごみの流れ

一般家庭から収集されたごみは、収集車によりこの環境美化センターへ運ばれ、プラットフォームよりごみピットに投入されます。一旦ピットに貯留されたごみは、クレーンによって投入ホッパーに供給され、焼却炉内に送り込まれ焼却されます。

→ 灰の流れ

焼却炉にて焼却された灰は、焼却炉搬出装置へ落下し、灰ピットに貯留した後、灰積出車にて搬出されます。減温塔、バグフィルタより排出された灰は、コンベヤで集塵灰処理装置へ搬送し、集塵灰処理装置にてセメントおよび薬品を添加することで固型化処理を行うことを行い、処理物バンカに貯蔵した後、灰積出車にて搬出されます。

→ 空気の流れ

ごみ焼却用の空気は、押込送風機によりごみピット室から吸い込み、空気予熱器で加熱した後、各ストーカの下から炉内へ供給されます。再燃室で燃焼促進のための空気は、二次送風機により炉室内から吸い込み、炉内へ供給されます。

→ 燃焼ガスの流れ

ごみ焼却により発生したガスは、ガス冷却室、空気予熱器、減温塔で減温された後、有害ガス除去装置、バグフィルタによって、ガス中の有害成分及び煤塵が除去され、清浄ガスとなって誘引送風機にて煙突より大気に放出されます。